

CONTENTS

P26 元気な店の元気なニュース
 P30 私の町の和菓子屋さん
 P37 食卓を支える「スゴイ！」商品
 P42 世界へ羽ばたく熊本の店
 P44 各店のモットー、集めました
 P46 時代と共に歩む“街の名店”
 P53 長年営む、愛されグルメ店
 P58 メニューに見る、店の歴史

1580 (天正年間) 頃	老舗 園田屋	P36
1638 (寛永15) 年	白玉屋新三郎	P32
1751 (宝暦元) 年	山内本店	P40
1827 (文政10) 年	松合食品	P41
1854~1860 (安政年間) 頃	浪花屋本店	P35
1867 (慶応3) 年	瑞鷹	P39
1868~1875 (明治初期) 頃	老舗くさは餅本舗	P36
1879 (明治12) 年	池田屋 本店	P51
1880 (明治13) 年	大谷楽器店	P49
1886 (明治19) 年	黒川製菓	P34
1882 (明治15) 年頃	小袖餅本舗	P35
1889 (明治22) 年	長崎書店	P52
1893 (明治26) 年	ソフィ・タカヤナギ	P50
1894 (明治27) 年	時計の大橋	P51
1907 (明治40) 年	メガネの大宝堂	P49
1911 (明治44) 年	Denkikan	P47
大正初期	フタバ	P37
1915 (大正4) 年	マルキン食品	P39
1919 (大正8) 年	甲玉堂	P50
1920 (大正9) 年	金龍堂 まるぶん店	P52
1933 (昭和8) 年	会楽園	P55
1933 (昭和8) 年	東寿司	P55
1934 (昭和9) 年	紅蘭亭	P56
1945 (昭和20) 年	岡田珈琲	P43
1947 (昭和22) 年	熊本製粉	P38
1947 (昭和22) 年	さんえす	P53
1948 (昭和23) 年	たしろ屋	P29
1949 (昭和24) 年	塩山食品	P40
1952 (昭和27) 年	鶴屋百貨店	P48
1954 (昭和29) 年	こだいこ	P28
1956 (昭和31) 年	蜂楽饅頭 熊本本店	P31
1957 (昭和32) 年	黒亭	P26
1963 (昭和38) 年	ぶらうん	P57
1965 (昭和40) 年	久幸堂	P33
1967 (昭和42) 年	ケルンよしもと	P54
1968 (昭和43) 年	味千拉麺	P42
1971 (昭和46) 年	峰寿司	P43
1972 (昭和47) 年	ふく泉	P56
1975 (昭和50) 年	勝烈亭 新市街本店	P27
1977 (昭和52) 年	カネリョウ海藻	P41
1978 (昭和53) 年	ホイロ	P57
1981 (昭和56) 年	みのや	P59
1984 (昭和59) 年	野っば	P56
1984 (昭和59) 年	いっばくラーメン	P58
1985 (昭和60) 年	オーデン	P55
1987 (昭和62) 年	吉之倉庫	P54
1988 (昭和63) 年	Boxin	P57



いつもそばにある、ずっと大切にしたい名店たち

【特集】
 長く愛される、
 熊本の
 元気な店

つまり
くまもと
LOVE!!
なのです!!

「小さい頃から通っていた」「当たり前にある」……。そんなお店があなたのそばにもきっとあるはず。でも、その長い歴史の中には、いいことも辛いこともたくさんあり、それらを乗り越えてきた「元気なお店」なのです。今回の特集では、そんなお店たちに隠された想いや転機となったできごとなどを当時の写真も交えてご紹介します。元気な店は、熊本のかげがえのない財産だ!

元気店 DATA の見方

創業 0000 (昭和00) 年	初代	お店 (企業) が創業した年
現在何代目?	あり	今の店主 (社長) で何代目か?
リニューアルの有無	あり	創業から今まで、お店 (会社) を一度でもリニューアルしているか?



100年以上続く
街の映画館で
心の琴線に触れる作品に
出合っしてほしい



「フィルム映画の上映など、映画ファンを楽しんでもらえるイベントを計画中です」と窪寺さん

明治14年「Denkikan」は、県内初の常設映画館として現シャワー通りに誕生した。現在はビルに3スクリーンを有し、年間約150〜170本の作品を上映。いわゆる「単館系」といわれる映画が中心で、館内にはカフェも併設。今も昔も多くの映画ファンに親しまれる街の文化発信基地だ。

昨年の熊本地震により、県内各地の映画館は長い休業を余儀なくされた。そんな中最初に営業を再開。被害が少なかった2階のスクリーンで2作品を上映した。代表の窪寺洋一さんは、「文化的活動をすべて辞めるのではなく、こんな時だから1日も早く再開したかったです」と当時を振り返る。

テレビの普及、大手シネコンの誕生、インターネットの普及……。映画をとりまく環境はこの10年で大きく変わった。それでも「Denkikan」は、映画を愛する人々に届く「心に残る映画」を選び続けてきた。「映画は文化。街から映画館がなくなると、文化の灯が消えてしまう。本屋や喫茶店と同じように、映画館は街にとって必要なもの」。100年以上、映画館のある街を守り続けてきた「Denkikan」。今の場所、上質な映画に触れられる私たちは幸せだ。



900名収容できるスクリーンが1つ。戦前は多くの映画館が街にあったが、残るは同館のみ



大正3年、現在の新市街に開館した二代目「電気館」。当時は「活動写真小屋」と呼ばれていた

「ザックリ年表」

1881(明治14)年 創業の窪寺喜之助氏誕生
1911(明治44)年 現シャワー通りにて創設
1914(大正3)年 現在地である新市街に二代目「電気館」を新築移転
1921(大正10)年 松竹キネマと提携する
2011(平成23)年 創業100周年を迎える



熊本市中央区新市街 Denkikan

TEL.096-352-2121

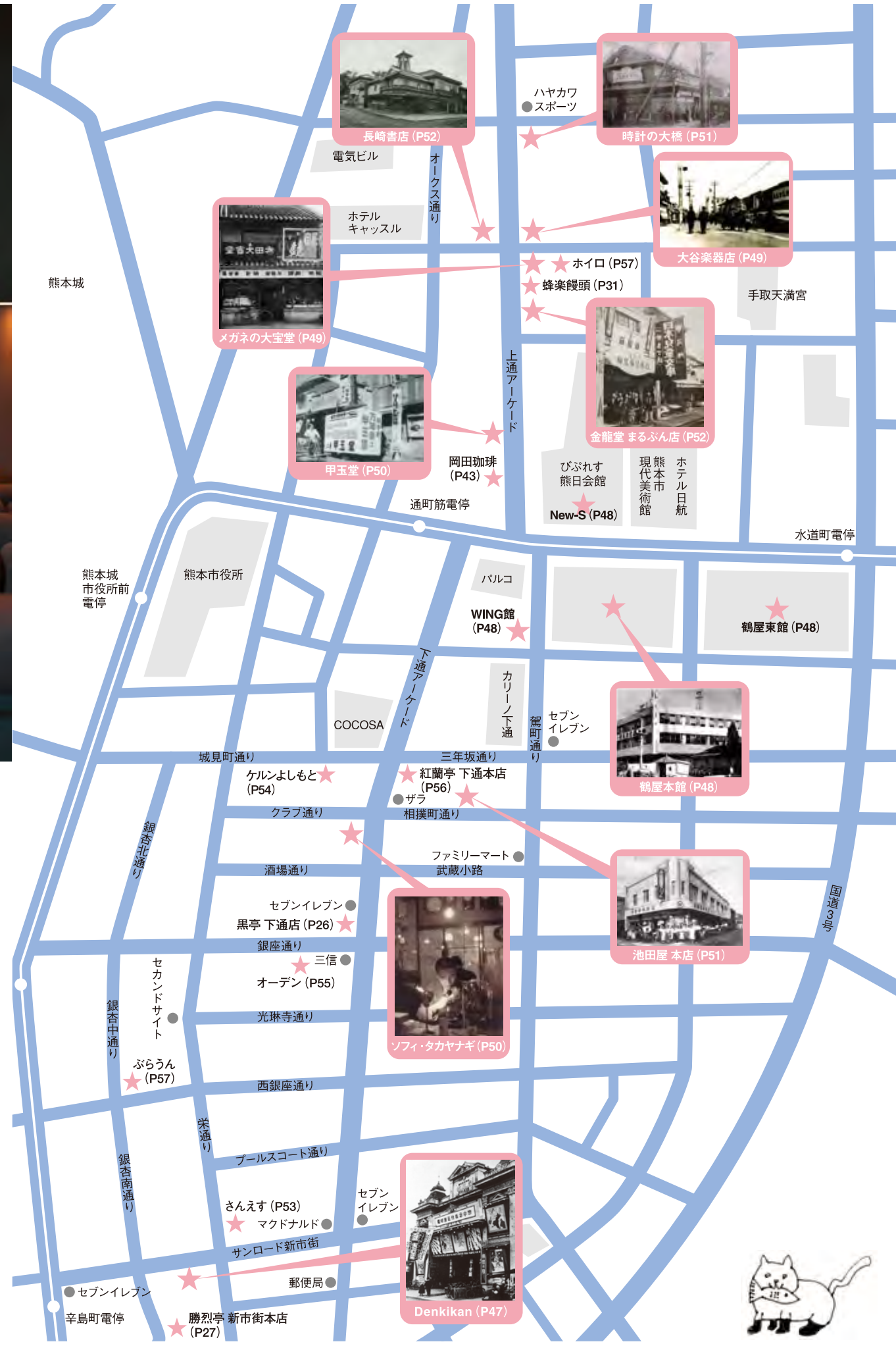
所 熊本市中央区新市街8-2 上映時間 14時、17時、20時 (HP参照) 休なし 座3スクリーン (376席) 利用不可

元気店 DATA
創業 1911年(明治44)年
現在何代目? 4代目
リニューアルの有無 あり

時代と共に歩む 街の名店

中心街の発展に欠かせない功労者達!

「街に行けばそこにある」
そんな安心感がある中心街の名店達。
明治時代から続く店もあり、市街地が
どんどん発展していく様子もそばで見えてきた。
なぜ長年愛されるのか、理由を紐解く。





管弦楽器コーナーのサブマネージャー、大谷優美さん(中央)とスタッフの久田松晃さん(左)、武内桃子さん(右)

【熊本市中央区上通町】
おたがっきてん
大谷楽器店
TEL.096-355-2248

所 熊本市中央区上通町7-1
営 9:00~21:00 (店舗営業10:00~19:00)
休 なし
P 提携Pあり
カ 下利用可

元気店DATA
創業 1880(明治13)年
現在何代目? 5代目
リニューアルの有無 あり



洋楽器専門店として上通町に創業以来、熊本の音楽文化向上に貢献してきた「大谷楽器店」。長年培った楽器メーカーとの強いパイプを生かし、楽器・楽譜の種類は県内随一。楽器業界の変貌に合わせて、音楽をはじめとするカルチャー教室の運営や自主企画によるコンサートなど事業を多様化してきた。「音楽は必需品ではありませんが感動を分かち合い、心を一つにできるもの。これからも音楽を通じて人の笑顔が集う場所でありたいです」。

これからも、音楽を通して人の笑顔が集う場所に



創業時、学生街だった上通町。音楽好きの学生がここに集った(写真は大正時代後期)

創業110年を迎えるメガネ・補聴器専門店「親子代々通」顧客も多く、丁寧な接客に「店はお客様のための存在」の精神が感じられる。昭和52年に自宅兼店舗を4階建ビルへ立て替えた際、地下に設けたギャラリーは文化発信拠点として愛されてきた。大手メガネチェーン店や大型モールが出現した際も、確かな品質と高い技術が独自の強みに。「魅力的な店があれば人は街に集まるもの。上通りの皆さんと力を合わせ、魅力を発信していきたいです」。

確かな品質、高い技術、誠実なおもてなしで、次の100年を目指す



創業当初の店構え。100坪あった敷地には自宅があり、時計+貴金属なども取り扱っていた



(左から)代表取締役会長の布田昭宏(左)と、4代目社長の善久さん

【熊本市中央区上通町】
たいほうどう
メガネの大宝堂
TEL.096-354-2155

所 熊本市中央区上通町5-6
営 10:00~19:30
休 なし
P 提携Pあり
カ 下利用可

元気店DATA
創業 1907(明治40)年
現在何代目? 4代目
リニューアルの有無 あり



3年ぶりにモデルチェンジした春夏用の制服にも注目!

65年前(昭和27年)の6月22日、「鶴屋百貨店」は誕生した。城下町として栄えた時代に、現在の場所付近に建っていた武家屋敷「鶴屋敷」が名前の由来だとか。地下1階、地上3階建てでスタートし、今やWING館・東館・New-S他、複数の店舗を展開。順風満帆に思えるその歴史も、実際は困難の連続だった。「同時期に地上9階建ての「大洋デパート」がオープンしたことで、創業2年目にして経営難に。さらに昭和28年、未曾有の水害にも見舞われたんです」と業務部の山下さんが歴史を見ながら教えてくれた。水害の影響で商品が高騰する中、お客様の生活を考え低価格で販売。その思いが顧客の信頼を掴んでいった。「お客様は家族」。この精神は今も息づいていて、何か判断に迷った時には「もしお客様が自分の大切な家族だったら?」と社員一同考えて対応しています。

商品やブランドの魅力はさることながら、「鶴屋百貨店」の魅力は人。「百貨店の強みは専門的な知識をもった販売員

が商品をご案内できること。この知識やスキルをお客様に楽しく役立つ形でお届けしたいと、鶴屋ラララ大学も開催しています」と業務部の中村さん。私たちの生活に寄り添うデパートは、こうして支持され続けているのだ。

「幼少の頃から鶴屋のエレベーターガールは憧れの職業でした。お客様それぞれの思いと一緒に生きる百貨店であると感じます」と案内係の今村さん。

今と変わらば珍しい熊本唯一のエレベーターガール



水害の傷跡が残る昭和28年秋に6階建てへと3層増築し、大洋デパートに対抗したのだから 創業当時、地上3階、地下1階建てでオープン。ロコは創業以来一度も変わっていない

県民に愛され続ける熊本で唯一の百貨店

【熊本市中央区手取本町】
つるやひっかてん
鶴屋百貨店 本館・東館
TEL.096-356-2111

所 熊本市中央区手取本町6-1
営 10:00~19:00 (金・土曜は~19:30)
休 不定期火曜
P 提携駐車場あり
カ 下利用可

元気店DATA
創業 1952(昭和27)年
リニューアルの有無 あり



「ザックリ年表」

1952(昭和27)年	現在の場所(本館)に創業
1953(昭和28)年	白川大水害が発生
1962(昭和37)年	創業10周年を記念し、店花をカーネーションに
1971(昭和46)年	坪当たり売上高が日本一に
2002(平成14)年	鶴屋東館、New-Sオープン
2016(平成28)年	熊本地震で被災(全館再開まで1ヵ月半)





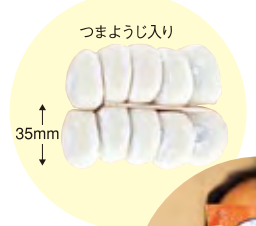
大きな鉄板の上で、小さな円盤の生地がふっくらと焼き上がる。どら焼き専門店「黒川製菓」では、甘くて香ばしい匂いが充満する店内で、手際の良い職人の作業を垣間見ることができる。明治19年創業。当時は万十やカステラなどさまざまな菓子が並び和菓子屋だったのが、先代が修業先で出会ったどら焼きの美味しさに惚れ込み、地元の人達にも食べさせたいと商品に加えたという。昭和62年からは「銅鑼焼」の店として愛され続けている。

宇土の名物菓子といえばこれ 殿様も愛した素朴なあん餅



小袖餅 (10個入り) 320円

保存料などは不使用。モチモチ柔らかな食感が楽しめる、その日のうちに食べよう



賞味期限1日なので、売り切れ御免で販売。来店は早目の時間帯がおすすめです
代表の八木 穂さん



おひつや一升餅、手あぶりの火鉢など、歴史を感じる小道具類は今では店のインテリアに

「これこれ」と一口食べると、柔らかい餅とほんのり甘いこしあんの馴染みある美味しさが広がる。宇土のお土産として親しまれている「小袖餅」の材料は、餅米、小豆、砂糖といったってシンプル。「完成された味だから、なにも手を加えることはない」と5代目の八木穂さんが言うように、創業以来レシピは変わらないという。いつも変わらない味が、長年愛され続ける理由だ。



銅鑼焼 110円

「美味しかった」と手紙や電話を寄せられることも多い「銅鑼焼」。大サイズは210円

1886 (明治19)年 現在地に創業
1970 (昭和45)年 本町支店オープン
1987 (昭和62)年 銅鑼焼専門店に変わる
2004 (平成16)年 5代目が跡を引き継ぐ

祖父の代まで使っていたという落雁型。5つ玉のそろばんも歴史を感じさせる



宇土市三拾町
小袖餅本舗 三号線支店
TEL.0964-22-0246 (本店)

所 宇土市三拾町118-1 9:00~売り切れ次第終了 (休不定(電話で確認))
P10台 カード利用不可

元氣店DATA
創業 1882 (明治15) 年頃
現在何代目? 5代目
リニューアルの有無 あり

旅人が持ち歩く一厘銅銭の束をモチーフにした大津町の落雁菓子「銅銭糖」。饅頭屋を営んでいた「浪花屋本店」の初代、藤次郎が考案した、江戸末期から続くお菓子だ。実は、6代目は店を畳もうとしたそうだが、「発祥の店をなくしてはいけない」と、5年前に7代目が跡を継いだという。以来、伝統を守りながらも、大津町のキンカンやサツマイモを使った新しい味にもチャレンジ。進化した銅銭糖が、新しいファンを生み出している。



昭和29年に撮影された「浪花屋本店」の店先。後列右から3番目が6代目の鈴子さん

菊池郡大津町
浪花屋本店
TEL.096-293-2503

所 菊池郡大津町室1037
9:00~18:30
休不定
Pなし
カード利用不可

元氣店DATA
創業 1854~1860 (安政年間) 頃
現在何代目? 7代目
リニューアルの有無 あり

“銅銭糖”はあんからすべて手作り。3日前の予約で、出来たても味わえます!



代表の古庄 さとこさん

coupon
特典内容はP120~121のクーポンを参照

銅銭糖 1本 60円
きんかん銅銭糖 1本150円

大津町産のきんかんを使った“きんかん銅銭糖”は、さわやかな香りで紅茶にぴったり

大 銅銭糖



昭和30年代、5代目の祖父の頃の「黒川製菓」。後ろに写る看板が懐かしい



coupon
特典内容はP120~121のクーポンを参照

八代市出町
黒川製菓
TEL.0965-33-2206

所 八代市出町1-5
9:30~17:00 (売り切れ次第終了)
休日曜 P4台 カード利用不可

元氣店DATA
創業 1886 (明治19) 年
現在何代目? 5代目
リニューアルの有無 あり



元氣店DATA
創業 1886 (明治19) 年
現在何代目? 5代目
リニューアルの有無 あり



老若男女に愛される
ふっくら甘いどら焼きの味

職人技!